

News Release (5) 南丹市

【平成30年11月20日（火）17時発表】

▼南丹市人権フォーラムについて

■内容

『前例がなければ作ればいい』～トーク&コンサート～をテーマとして開催します。

今回は、気管切開をした声楽家として活躍中の青野浩美さんによる講演と歌です。

自分と違う他者の声に耳を傾け、新たな出会いや喜びに気付かれたことを、素敵な歌声とともにお話しいただきます。私たちの生活の中での人とのふれあいについても考えてみましょう。

●日時 平成30年12月8日（土）
午後1時30分～3時30分

●場所 南丹市国際交流会館 イベントホール

●内容 講演会
『前例がなければ作ればいい』～トーク&コンサート～
講師：青野 浩美（あおの ひろみ）さん（声楽家）

●その他 ・手話通訳、要約筆記があります。
・託児ルームあり（6ヶ月以上～就学時前のお子さん対象）のご利用は11月30日までにご予約下さい。

◆この記事に関するお問い合わせ

市民福祉部 人権政策課 担当：奥村、能瀬（電話 0771-68-0015）

プレスリリースに掲載された内容およびお問い合わせ先は発表現在のもので、その後、予告なしに変更される場合がありますのでご了承ください。

南丹市人権フォーラム

『前例がなければ 作ればいい』

～トーク & コンサート～

日時：平成30年
12月8日(土)

13時30分～
15時30分
(開場13時)

会場：南丹市国際交流会館
イベントホール

講師：青野 浩美さん (声楽家)



声楽家をめざし、その道一筋に邁進していた矢先に、原因不明の神経性難病を発症。手足が動かなくなり、それに加えて無呼吸の発作におそわれる。リハビリと車イスの生活がスタート。

命を守るため、やむなく気管切開に踏み切る。歌手としての活動は、「前例がないから無理だ」と告げられるが、諦めず、自身の障がいと向き合い、闘い続ける。

“気管切開をした声楽家”として活動中。

入場無料

◇手話通訳・要約筆記・託児ルームあります

※託児ルーム（6ヶ月以上～就学前のお子さん対象）のご利用の場合は、11月30日までにご予約ください。

◆講師プロフィール

京都市生まれ。

同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻声楽コース卒業。同志社女子大学音楽学会頌啓会特別専修生終了。京都音楽家クラブ新人演奏会、京都芸術祭「デビューコンサート」、同志社女子大学での音楽礼拝、「青野浩美リサイタルコンサート La Preghiera 祈り」など多数出演。高橋道子氏に師事。2017年4月京都光華女子大学医療福祉学科言語聴覚専攻入学。

◆著書

『わたし“前例”をつくります 気管切開をした声楽家の挑戦』